様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 6 月 30 日

１ 事業名	国民健康保険税課税事務			コード	64108
２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	医療保険課	作成者 水野　康夫

３ 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち	
		政　策	福祉の充実	施　策 社会保障の円滑な運営
	予算科目	国保特会	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		岡谷市国民健康保険事業の運営のために必要な国民健康保険税の課税を行う。
目的	対象者	岡谷市国民健康保険被保険者
	意　図	岡谷市国民健康保険事業特別会計の適正な財政運営のため

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

○課税状況

基礎課税分	（世帯数）7,007世帯、	（被保険者数）11,307人、	（調定額）718,678,487円
後期高齢者支援金分	（世帯数）7,007世帯、	（被保険者数）11,307人、	（調定額）199,826,997円
介護納付分	（世帯数）2,935世帯、	（被保険者数）3,458人、	（調定額）78,722,716円

前年度の課題への対応	チラシの全戸配布や広報等による情報提供。 課内研修の実施。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		7,040,380	6,235,606	6,150,847	9,391,000
	経常経費	7,040,380	6,235,606	6,150,847	9,391,000
	臨時的経費	0	0	0	0
	＊臨時的経費の説明	―			
② 人件費		12,800,000	12,800,000	12,800,000	12,800,000
	正規職員の人数（人）	1.60	1.60	1.60	1.60
③ 合計コスト（①＋②）		19,840,380	19,035,606	18,950,847	22,191,000
	前年度比		95.9%	99.6%	117.1%
	財源内訳 一般財源	19,840,380	19,035,606	18,950,847	22,191,000
	財源内訳 特定財源	0	0	0	0
	＊特定財源の説明	―			
④ コストに関する補足説明		―			

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） 国保財政の安定的運営に向け、国保制度改革の中身と合わせて、税率改定の検討等を行い、財政状況等を広く知っていただくことが必要。 医療保険制度改革における確実な財政支援策の実施と国民健康保険制度の構造的な問題の解決を今後も国や県に求め、国保財政運営の基盤強化を図ることが必要。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） チラシ等による、国保財政状況や改定内容の周知。 課内研修の実施。 県や他市町村等と連携し、国保財政基盤の強化を求めていく。
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B